

| 科目名 | 国語表現法Ⅱ | | 担当者名 | 安枝美乃(ヤスエダヨシノ) | |
|---------|---|-----------------|--------------------------------|------------------------------|------|
| 開講年次 | 1 | 開講時期 | 後期 | クラス | |
| 授業形態 | 講義 | 履修方法 | 必修 | 単位数 | 2 |
| ナンバリング | A0022 | 該当DP | DP1,DP4 | 実務経験 | |
| 授業概要 | 日本語によって表現するための基礎・基本の力を習得させることを中心的目的とする。後期では特に「書くこと」を中心に、理論的・実践的に指導する。毎回漢字、四字熟語、ことわざ等の宿題を課し、テストを行う。 | | | | |
| 到達目標 | 1.正式な手紙を書くことができる。 2.レポートを書くことができる。 3.履歴書を書くことができる。 4.エントリーシートを書くことができる。 5.小論文(就職試験・四年制大学編入試験)を書くことができる。 | | | | |
| 授業計画 | 回 | 授業内容 | | 授業外学習(内容と時間) | |
| | 1 | 手紙の書き方 1 | | →正式な手紙を書く | 60分 |
| | 2 | 手紙の書き方 2 | | →正式な手紙を書く | 60分 |
| | 3 | レポートの書き方 1 | | →レポートを書く | 60分 |
| | 4 | レポートの書き方 2 | | →レポートを書く | 60分 |
| | 5 | 履歴書の書き方 1 | | →履歴書を書く | 60分 |
| | 6 | 履歴書の書き方 2 | | →履歴書を書く | 60分 |
| | 7 | エントリーシートの書き方 1 | | →エントリーシートを書く | 60分 |
| | 8 | エントリーシートの書き方 2 | | →エントリーシートを書く | 60分 |
| | 9 | 小論文とは | | →小論文と作文の違い。出題方法、採点基準について。 | 60分 |
| | 10 | 小論文を書く 1(主題の決定) | | →主題の決定のしかた | 60分 |
| | 11 | 小論文を書く 2(取材) | | →取材する | 60分 |
| | 12 | 小論文を書く 3(構想を練る) | | →構想を練る | 60分 |
| | 13 | 小論文を書く 4(構成) | | →四段構成・三段構成について | 60分 |
| | 14 | 小論文を書く 5(記述) | | →小論文を書く(書き出し文・書きことばの表現・原稿用紙の | 60分 |
| | 15 | 小論文を書く 6(推敲) | | 試験勉強 | 180分 |
| 教科書 | なし。毎回「ワークシート」を配布し、それに沿って授業していく。 | | | | |
| 参考書 | 樺島忠夫『文章作法辞典』『文章構成法』 | | | | |
| 成績評価 | 方法 | 割合 | 備考 | | |
| | 前期試験の得点 | 60% | 毎回配布する漢字プリント15枚含む。テスト結果は返却しない。 | | |
| | 出席 | 20% | 毎回必ず出席すること。 | | |
| | 提出物 | 20% | 毎回必ず提出すること。評価をつけて返却する。 | | |
| | | | | | |
| 履修上の注意 | 大学生、さらには社会人として身につけておくべき文章表現の基礎・基本を指導します。就職試験・四年制大学編入には小論文が課されます。社会に出てからも文章を書くことは様々な場面で要求されます。後期の授業では「文章を書く」ことを重点的に指導します。また、国語に関する一般常識も盛り込み、実践的に一人一人丁寧に指導します。また「今年を表す漢字一字」に応募することで、漢字に対して興味・関心を持たせます。授業時に使用したプリントは毎回回収し添削し返却します。 | | | | |
| オフィスアワー | 16:30以降 | | メールアドレス | iwatayoshino@gmail.com | |